

のだ治久

県政レポート

発行 / 静岡県議会議員
のだ治久事務所

〒410-2407 静岡県伊豆市柏久保1395-2

● TEL. 0558-99-9975

● FAX. 0558-99-9976

配達地域
指 定

ご挨拶

新しい年を迎え、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年4月の静岡県議会議員選挙では投票数の80%を超えるご支持を頂き3期目の当選を果たすことができました。改めてお礼申し上げますとともに、今後ともふるさと伊豆市の発展と静岡県政の諸問題克服に向け誠心誠意務めて参ります。

さて、元日の能登半島地震発災は、まさに青天の霹靂であり天災は時と場所を選ばず突然襲ってくるという危機管理の重要性を実感いたしました。改めて石川県を中心に甚大な被害が発生し、多くの命が犠牲になられたことに心よりお悔やみ申し上げますとともに、負傷されたり未だ避難所生活が続いている皆様にお見舞い申し上げます。また正月に里帰りをしていた若い方々が多く犠牲に合わせ同じ子や孫を持つものとして心が痛んでいます。

静岡県に於いては、地震発災日から消防や警察の緊急援助隊その後、災害派遣医療チーム(DMAT)や県職員など石川県穴水町を拠点に派遣を続けており、現場の状況や必要に応じて順次新たなチームが復旧支援に全力で取り組んでいます。県議会でも議員報酬の一部を寄付する予定となっており静岡県としてできる限りの支援を続けて参ります。



組んでいます。県議会でも議員報酬の一部を寄付する予定となっており静岡県としてできる限りの支援を続けて参ります。

まだ今回の震災の全容が掘めていない状況下で時期尚早と思いますが、危機管理を常に念頭においている立場として「半島の脆さと弱さ」を痛感しています。半島地震の特徴として、幹線道路の整備が遅れており限られたアクセスに頼らざるを得ないこと、海に囲まれた地形は大規模な地殻変動が起こりやすいこと、短時間で津波が到達すること、急峻な地形が多く家屋の倒壊や土砂崩れ、道路分断など極めて深刻な損害を受けやすいこと、耐震化が遅れた木造住宅が多いこと、高齢化と人口減少でマンパワーが不足すること、水道や電気などのライフラインが損傷しやすいこと、海岸沿いや山間地の集落が孤立しやすいこと、これらの復旧に時間がかかることから二次避難への対応など能登半島と伊豆半島は共通点が多く見受けられます。また、地域住民だけではなくインバウンドを含む観光客の避難誘導やその後の二次避難への対応などこれからしっかりと検証してまいります。

私たちは今後の伊豆半島の有事にしっかりと備え皆さんの安全と安心を守ってまいります。そして常に高いアンテナを立て新しいニーズにしっかりと対応し、静岡県や伊豆市と連携を密にし、ふるさととの明るい未来への足掛かりを固めてゆかねばなりません。引き続きのご支援を宜しくお願い致します。



小松基地管制塔視察



清水港視察